

4. 研修プログラムの特色・理念およびプログラムの詳細

4-1 佐賀県医療センター好生館 臨床研修プログラム(2026年度版向け)

【基幹型】

1) 当館の医師臨床研修プログラムの特色

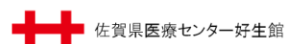
- (1) 十分な自由選択期間があり、特に2年次は自分の希望する診療科の選択がしやすい
- (2) プライマリ・ケアおよび救急初期対応を十分に習得できるよう、救命救急センターでの研修やERでの屋根瓦方式の総合時間外診療(総合当直)システムが組み込まれている
- (3) 症例数が豊富で、熱心で豊富な指導陣により、充実した研修・指導がなされる
- (4) 臨床研修医専用の医局には各人の机に電子カルテ用PCを配備するとともに、研修棟4~5階に研修医向け宿舎を設け、設備・環境面でのサポートが充実している

2) 医師臨床研修の理念・基本方針と目標

プライマリ・ケアを体得するとともに、全人的医療を学び、個人の能力の限界を知り、患者中心の医療とチーム医療について修得し実践できる。

3) 好生館 医師臨床研修プログラム：(基幹型；例)

臨床研修プログラムの内容(基幹型：定数12名)



好生館研修プログラム 臨床研修ローテーション表(基幹型：例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科(6科選択；1カ月ずつ)						救命センター		必修科目 or 選択科目			
	総合時間外診療								総合時間外診療			

必須研修のうち
院外研修となるブロック
精神科
地域医療

■オリエンテーション
4月1日-4日
医療安全
院内感染予防
情報セキュリティ
医療倫理
採血・輸血の基本
手術室手洗い
電子カルテ操作・記載

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年目	地域医療	救命センター	必修科目 or 選択科目									
	総合時間外診療		総合時間外診療									

■必修研修
次スライド

■地域医療研修
済生会唐津病院
山元記念病院
公立佐賀中央病院
白石共立病院
ぶどうの木クリニック

注) 上記表において、「地域医療」研修は、2年次の4月にローテーションするという意味ではなく、2年次のいずれかの時期(3月と4月を除く)に、最低4週間は研修することを意味します。

基幹型プログラム必須研修

- 内科研修(4W×6) 10診療科より、6診療科を選択
- 救急科研修 1年次:8W、2年次:4W
- 外科系、小児科、産婦人科、精神科、地域医療(4Wずつ)
- 一般外来研修 地域医療、小児科、総合内科で経験(20日)
- 麻酔科研修 8週間

院外研修

内科:
総合内科 呼吸器内科
肝胆膵内科 循環器内科
脳神経内科 血液内科
消化器内科 腎臓内科
糖尿病代謝内科 臨床腫瘍科

外科:
消化器外科
肝胆膵外科
呼吸器外科
心臓血管外科
小児外科
脳神経外科
整形外科
泌尿器科

4) 医師臨床研修を行う分野並びに当該分野ごとの研修期間および

臨床研修協力病院または臨床研修協力施設

臨床研修を行う分野	病院又は施設の名称	研修期間 *1
内 科*2	佐賀県医療センター好生館	24 週間
救命救急センター	佐賀県医療センター好生館	12 (8+4) 週間*5
地域医療 (2年次)	済生会唐津病院 山元記念病院 公立佐賀病院 白石共立病院 ぶどうの木クリニック	4 週間
必修科目*3	佐賀県医療センター好生館他	20～32 週間
選択科目*4	佐賀県医療センター好生館他	32～44 週間

*1 研修期間は、合計2年間。臨床研修医は、総合教育研修センターの所属となります。

*2 1年次の内科6ヶ月について：呼吸器・肝胆膵・血液・消化器・循環器・腎臓・糖尿病代謝・脳神経・総合・腫瘍の10診療科から6つを選択し、各々4週間ずつ、24週間(6ヶ月)ローテートする。

将来内科系志望者：自由選択期間(4ヶ月)に呼吸器内科2ヶ月、循環器内科2ヶ月などの研修も可。

*3 外科系、精神科、小児科、産婦人科の4診療科、地域医療は必修 各科をそれぞれ4週間以上選択

外科系：消化器外科、呼吸器外科、肝胆膵外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、心臓血管外科、泌尿器科

精神科：院外研修 肥前精神医療センター(8週間；偶数月に研修開始) 早津江病院、嬉野温泉病院、神野病院のいずれか(4週間以上)。

産婦人科：4週間(～8週間)、NHO 佐賀病院でも可

麻酔科：好生館プログラムでは、必修：(8週間を推奨)。

＊4 内科（呼吸器、肝胆膵、血液、消化器、循環器、腎臓、糖尿病代謝、脳神経、総合、腫瘍）、救命救急センター、地域医療、消化器外科、肝胆膵外科、呼吸器外科、小児外科、麻酔科、精神科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、泌尿器科、整形外科、脊椎外科、放射線科、脳神経外科、心臓血管外科、集中治療部(ICU)、緩和ケア科、感染制御部、病理、リハビリテーション科から選択。

精神科：肥前精神医療センター（8週間）、早津江病院、嬉野温泉病院、神野病院（いずれも4週間）のいずれか

＊5 救急科（救命救急センター）：1年次に8週間、2年次に4週間の研修

ドクター・カーへの同乗研修が可能

地域医療研修：同一月の受け入れ可能研修医数は、各施設1名。

院外短期研修：基幹型では、佐賀大学附属病院、唐津赤十字病院、嬉野医療センター、NHO佐賀病院など

（2年次に、**最大8週間**）

一般外来研修：**地域医療研修（3～4日以上／週）**と**小児科研修（2日／週）**。**総合内科研修（3日～4日／週）**でもダブルカウント可。

注）臨床研修協力施設（地域医療研修施設や精神科研修施設等）での研修時期は、原則3月と4月を除く。また、その研修期間は 合計で12週間以内とする。

5）医師臨床研修プログラム責任者の氏名

甘利 香織（総合教育研修センター長；医師臨床研修プログラム責任者）

藤田 尚宏（総合教育研修センター医師；医師臨床研修プログラム副責任者）

6）臨床研修医の指導体制

指導医、主治医、専攻医の指導下で、患者の診療に参加する体制。

(1) 初期臨床研修管理責任者

館 長	田中 聡也
副館長	岩永 健太郎
〃	内藤 光三
〃	緒方 伸一

(2) 初期臨床プログラム責任者

主責任者	総合教育研修センター長	甘利 香織
副責任者	総合教育研修副センター 医師	藤田 尚宏

(3) 医師臨床研修実施責任医師

呼吸器内科	久保田 未央	循環器内科	吉田 敬規
血液内科	吉本 五一	消化器内科	富永 直之
肝胆膵内科	吉岡 航	糖尿病代謝内科	吉村 達
脳神経内科	江里口 誠	総合内科	原野 由美
腎臓内科	中村 恵	臨床腫瘍科	柏田 知美
消化器外科	池田 貯	肝胆膵外科	三好 篤
心臓血管外科	里 学	呼吸器外科	武田 雄二

脳神経外科	松本 健一	小児外科	山内 健
整形外科/脊椎外科	林田 光正	産婦人科	安永 牧生
小児科	西村 真二	産婦人科	室 雅巳
泌尿器科	諸隈 太	精神科	石井 博修
眼科	佐々 由季生	耳鼻いんこう科	宮崎 純二
放射線科	中園 貴彦	感染制御部	福岡 麻美
病理部	森 大輔	緩和ケア科	小杉 寿文
麻酔科	三浦 大介	集中治療部	三溝 慎次
救急科	岩村 高志	リハビリテーション科	山之内 直也
皮膚科	米倉 直美		

※協力型臨床研修病院ならびに協力型臨床研修病院の指導者については、9) 10) を参照のこと。

(4) 医師臨床研修指導医

医師臨床研修を行う各診療科・分野において、臨床研修実施責任医師は、臨床研修医ごとに指導者（指導医）を決め、割り当てる。研修指導は各診療科の現状に合わせるが、原則として『屋根瓦』方式とする。原則、指導医 1 名に対して臨床研修医 1 名とするが、十分指導可能であれば、指導医 1 名に対して臨床研修医 5 名までは可能とする。

(5) 臨床研修の評価体制と PG-EPOC (EPOC2) について

医師臨床研修プログラム責任者は、各臨床研修医ごとに、到達目標の達成度について検討し、少なくとも [年 2 回の面談および形成的評価](#) を行う。

毎月、指導医による臨床研修医の評価（EPOC 研修医評価 I / II / III 好生館独自評価）、医師以外の指導者（各病棟・部署の看護師、病棟専任薬剤師、検査技師長）は、病院独自の評価票を用いて臨床研修医の評価を行う。また、医師臨床研修プログラム責任者は、研修修了時に、「臨床研修の目標の達成度評価票」を用いて各臨床研修医の総括的評価を行う。臨床研修医は、スマートフォンやタブレット端末等を利用して適宜、研修の達成度や経験症例等を PG-EPOC (EPOC2) に登録する。指導医は各臨床研修医が登録した内容を確認し、承認する。

7) 医師臨床研修医の募集定員並びに募集・採用方法、病院見学について

定員：佐賀県医療センター好生館 医師臨床研修プログラム 12 名

募集方法：公募（医師臨床研修マッチング協議会の研修医マッチング）

採用方法：書類審査、小論文、面接試験

※CBT 結果も提出あり（参考程度）

病院見学

プログラム説明と希望診療科の見学を随時行っている。また、研修医医局や宿舎も見学可
病院 HP、総合教育研修センターもしくはリクルートサイトから申し込みを

8) 医師臨床研修医の処遇

(1) 身分 臨時職員 (医員)

(2) 研修手当、勤務時間及び休暇

○研修手当(令和5年度実績)

基本手当/日 1年次 15,000 円 (20日間勤務した場合、300,000 円、税込) + 研修医手当

2年次 15,500 円 (20日間勤務した場合、310,000 円、税込) + 研修医手当

○賞与 : 無し

○時間外勤務手当 : あり

基本手当に加え、「研修医手当」(研修医手当 ⇒ 1年次:8万円/月、2年次:10万円/月)あり

【留意点①】ICカードによる打刻(登録)が“勤務証明”であり、出勤時・退勤時の打刻は必須。勤務時間外の活動内容は、勤務管理ソフトで登録・集計。

【留意点②】時間外勤務時間が80時間/月を超えそうな場合は各診療部長より注意喚起あり。100時間/月を超えた場合は、面接指導実施医師(産業医、各診療部長、臨床研修プログラム責任者など)による面談(内容は勤務状況や睡眠時間・健康状態など)が必須。勤務間インターバルが確保できない場合は、事後的に(翌月末までに)「代償休息」の付与あり。(2025年度面談対象者はなし)

○休日手当 : 有り(緊急呼び出しなど、一定の要件を満たした場合)

○通勤手当 : 有り(支給要件あり)

○勤務時間 : 基本的に8:30 ~ 17:15 (休憩時間 1時間)

○休暇

有給休暇 : 有り 1年次 15日、2年次 16日

夏季休暇 : 無し(有給休暇を利用すれば、3日~5日間の連続した休暇の取得は可能)

年末年始 : 有り(ただし、総合日直・当直当番あり)

(3) 日直・当直

総合日当直(総合時間外診療;ER) : 有り(約4~5回/月) **当直帯は、22時で交代の2交代制度**

(4) 研修医のための宿舎および病院内の専用スペース

宿 舎 ⇒ 有(32部屋;研修棟4階~5階、2部屋;病院棟西側のエール)

医師臨床研修医専用室(医局2) : 有り (各自に机/イス/電子カルテ用PC/ロッカーあり)

仮眠室(個室) : 有(計6部屋;男性研修医用 → 4部屋、女性研修医用 → 2部屋)

(5) 社会保険・労働保険

公的医療保険(地共済保険) : 有り

公的年金保険(厚生年金保険) : 有り

労働者災害補償保険法の適用 : 有り

雇用保険 : 有り

(6) 健康診断 : 有り (毎年 1回)

(7) 医師賠償責任保険

病院において医師賠償責任保険 病院契約(全国自治体病院 賠償責任保険)に加入

個人加入 強制

(8) 外部の研修活動

学会、研究会等への参加 : 可

学会、研究会等への参加費用支給 ⇒ 有

(9) アルバイトの禁止

医師法第 16 条の 5 の規程に基づき、医師臨床研修期間中のアルバイトは禁止

(10) 院内保育所・保育補助・その他育児関連施設への取り組み（今後対策を検討）

院内保育所 : 無し

保育補助（ベビーシッター・一時保育等利用の補助） : 無し

臨床研修医の子どもに関連した保育所の優先使用 : 無し

体調不良時の休憩・授乳等の使用場所 : 有り（研修棟 2 階の健康管理室）

育児関連施設（院外連携など）への取り組み : 実績無し

(11) 研修医の妊娠・出産・育児に関する取り組み

臨床研修中に妊娠・出産・育児等の理由により、臨床研修を一時期もしくは長期にわたり休止もしくは中断する場合は、館長および臨床研修管理委員会に諮り、善後策を協議する。**研修期間を通じた休止期間の上限は 90 日と定められているので、その範囲内での中断ですむのか否か、研修プログラム責任者は研修医本人や家族と十分な時間をとって協議する。**各研修分野に求められている必須の履修期間を満たしていない場合、自由選択期間に必須診療科の不足分を補充したり、休日・夜間の ER 総合当直を利用する等の手段により、あらかじめ定められた研修期間内に各必修研修分野の必要履修期間を満たすよう努める。研修中断が 90 日を超えることが避けられない場合、研修プログラム責任者は研修管理委員会に報告の後、館長に「臨床研修中断証」の交付依頼を行う。同時に、管轄する地方厚生局（九州厚生局）健康福祉部医事課宛てに上記中断証を送付する。

(12) 健康管理

臨床研修医は、必要な予防接種を必ず受けることになっており、毎年のストレス度チェックも義務である。また、不眠や強いストレスを自覚した際、ハラスメントを受けたと感じた際などは、研修プログラム責任者に相談し、適宜精神科医や産業医の面談を受けることが可能である。

(13) 医師の働き方改革に対応した時間外・休日労働の想定上限時間数と過去の実績について

好生館は、医師の時間外労働時間規制において、**病院として A 基準および C-1 水準の適用**をしている。

臨床研修医はより強い健康管理措置が要求されるため、A 基準（時間外労働時間上限 960 時間／年）とする。

9) 臨床研修「協力病院」

種 類	名 称	研修内容	期間	研修実施 責任者	指導者・指導医
医療機関	国立病院機構 肥前精神医療 センター	統合失調症の入院症例等	8 週間 (4 週間 は不可)	上野 雄文、 村川 亮	上野 雄文、 村川 亮、他
〃	佐賀大学医学部 附属病院	短期研修プログラム 内科、外科など	8 週間 以内	古賀 大介	、他
〃	国立病院機構 嬉野医療セン ター	短期研修プログラム 内科、外科など	8 週間 以内	力武 一久、	力武 一久、 、他
〃	国立病院機構 佐賀病院	短期研修プログラム 内科、外科、産婦人科など	8 週間 以内	円城寺 昭人 内橋 和芳	円城寺 昭人、 内橋 和芳、他
〃	唐津赤十字病院	短期研修プログラム 内科、外科など	8 週間 以内	宮原 正晴、 長嶋 昭憲	宮原 正晴、 長嶋 昭憲、他
〃	九州大学医学部 附属病院	短期研修プログラム 皮膚科など	4 週間 以内	新納 宏昭	新納 宏昭、他

(敬称略)

10) 臨床研修「協力施設」

種 類	名 称	研修内容	期間	研修実施 責任者	指導者・指導医
医療機関	早津江病院	統合失調症の入院症例等	4 週間	松永 高政	松永 高政、他
〃	嬉野温泉病院	統合失調症の入院症例等	4 週間	奥 栄作	奥 栄作、他
〃	神野病院	統合失調症の入院症例等	4 週間	石丸 正吾	石丸 正吾、他
医療機関	山元記念病院	地域医療	4 週間	山元 謙太郎	山元 謙太郎、他
〃	済生会唐津病院	地域医療	4 週間	園田 孝志	園田 孝志、他
〃	公立佐賀中央病院	地域医療	4 週間	佐藤 清治	佐藤 清治、他
〃	白石共立病院	地域医療	4 週間	白石 良	白石 良、他
〃	ぶどうの木 クリニック	地域医療	4 週間	山本 巻一、 崔 承彦、他	山本 巻一、 崔 承彦、他

(敬称略)

※ 地域医療研修には、一般外来研修と在宅医療研修が含まれる。

1 1) 臨床研修ローテーション

(1) プログラム (厚生労働省申請)

内科 (24 週)、救急 (12 週)、地域医療 (4 週)、
その他の必修科目 (16~20 週; 外科系、小児科、精神科、産婦人科をそれぞれ 4 週間以上)、
当館独自の必修科目 (麻酔科; 4~8 週)、および選択科目 (32~44 週)。

(2) 具体的な選択例

① コア科を中心に選択する場合の例

1 年次 ・オリエンテーション (1W)、内科 24W、救急 12W、消化器外科 12W、
2 年次 ・地域医療 4W、小児科 8W、産婦人科 8W、麻酔科 8W、精神科 4W、自由選択 16W など

② 内科系を中心に選択する場合の例:

1 年次 ・オリエンテーション (1W)、内科 32W、救急 12W、形成外科 4W、
2 年次 ・地域医療 4W、呼吸器内科 4W、血液内科 4W、消化器内科 4W、放射線科 4W、
感染制御部 4W、小児科 8W、産婦人科 4W、麻酔科 8W、精神科 4W など

③ 外科系を中心に選択する場合の例:

1 年次 ・オリエンテーション (1W)、内科 24W、救急 12W、消化器外科 12W
2 年次 ・地域医療 4W、呼吸器外科 4W、肝胆膵外科 4W、小児外科 4W、心臓血管外科 4W、
脳神経外科 4W、小児科 4W、産婦人科 8W、麻酔科 8W、精神科 4W など

④ 循環器系を中心に選択する場合の例:

1 年次 ・オリエンテーション (1W)、内科 24W、救急 12W、循環器内科 12W、
2 年次 ・地域医 4W、心臓血管外科 8W、麻酔科 8W、ICU 4W、小児科 4W、産婦人科 4W、
精神科 4W、感染制御部 4W、放射線科 4W、循環器内科 4W など

あくまで例である。自身でアレンジ可能。

◎ 4 月はじめに 1 週間の全体オリエンテーションあり、4 月の研修科は 4 週間弱の研修となる

総合時間外診療 (ER) いわゆる総合当直 = 救急診療 A について

救命救急センター、精神科などの外病院での研修の期間を除けば、毎月約 4 回~5 回の頻度で担当となる。

1 年次と 2 年次の 2 ペアで、前半組 (17:15~22:00)と後半組 (22:00~8:30)に分かれ、救急 C・救命救急当直・SCU 当直・ICU 当直、各科オンコール等のサポートを受けながら、“屋根瓦方式”にて walk-in で救急外来を受診した患者さんの初療を担当する。トリアージナースから依頼を受けた研修医は、最初の診察や検査オーダー、(仮の) 臨床診断を行う。創部の処置や縫合、関連診療科へのコンサルテーションなども自ら行う。

診療記録に関する指導・承認は、所属する診療科長により行われる。総合教育研修センター所属医師からも診療内容に関する振り返りが行われる。

1 年次の初期臨床研修医の単独診療は、原則禁ずる。

後半担当者 (22:00~08:30) は、翌日引継ぎ後、正午ごろには離院する必要がある。

・小児科、産婦人科、精神科(必修研修)
もしくは選択科目(感染制御部)・PCUなど

・スタートが内科か、救急科か、あるいは選択診療科かは、他の臨床研修医との関係で決定される。[ローテーションは、総合教育研修センターにて希望に基づき決定を行う。](#)

- ・ **2年次**：九州大学または佐賀大学で研修（それぞれの大学の研修プログラムに沿って選択し研修）。

1 年次大学病院⇒2 年次好生館

2-②）：たすきがけ研修研修（2年次に好生館で研修する場合）：ローテーション表（例）

定員：8名

【佐賀大学】たすき;佐賀大学病院⇒好生館プログラム 佐賀県医療センター好生館

■オリエンテーション
4月1日-4日
医療安全
院内感染予防
情報セキュリティ
医療倫理
採血・輸血の基本
手術室手洗い
電子カルテ操作・記載

■地域医療研修
済生会唐津病院
山元記念病院
公立佐賀中央病院
白石共立病院
ぶどうの木クリニック

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	オリエンテーション	佐賀大学附属病院で研修										
2年次	地域医療	必修科目 or 選択科目										
		総合時間外診療										

1年次履修できていない必修研修を中心に
小児、産婦人科、精神科など(4Wずつ)
麻酔科(原則8W)

■一般外来研修
小児科・地域医療・総合診療部(必修)
総合内科(選択)

- ・ **1年次**：佐賀大学で研修（研修プログラムに沿って選択）。[総合診療部必修](#)
- ・ **2年次**：**地域医療（4週間）**

佐賀県内の5つの臨床研修協力施の中から1施設を選択し研修する。原則3月と4月はさけること。

その他の期間

外科系を除く必修選択3科（小児科、産婦人科、精神科）、麻酔科研修を行う（麻酔科は8週間を推奨）。

1年次に救急科研修が8週間のみの方は、2年次の好生館で麻酔科もしくは、救急科で4週間以上研修が必須である（[救急科4週間に加え、麻酔科で8週間研修することを推奨](#)）。

なお、1年次の佐賀大学附属病院での選択期間に履修済の必修科（小児科、産婦人科、精神科）は再選択不要である。佐賀大学たすきがけプログラム（佐賀大学⇒好生館型）の場合、好生館以外の施設での研修は、地域医療研修・精神科研修を除けば、最大で4週間（1ヶ月）である。

4-3 好生館医師臨床研修のまとめ(研修プログラム別比較)

<表1 佐賀県医療センター好生館 医師臨床研修プログラム>

	厚生労働省へ申請分	205 年度（令和 7 年度）～				
		基幹型 ¹⁾	たすき（佐大） 1 年次に 好生館	たすき（九大） 1 年次に 好生館	たすき（佐大） 2 年次に 好生館	短期 研修
オリエンテーション ²⁾	1	1	1	1	1	
内科 ³⁾	24 ³⁾	24 ³⁾	24 ³⁾	24 ³⁾		
救急 [◎]	12	12	12	12	(4)	
地域医療	4	4			4	
総合内科				4 ⁷⁾		
外科系	4	4	8 ⁶⁾			
麻酔科	4・8	4・8			8	
小児科	4	4			4	
産婦人科 ⁹⁾	4・8	4・8 ⁹⁾			4・8	
精神科 ⁴⁾	4・8	4(8)			4(8)	
院外施設※						
選択 ⁵⁾¹⁰⁾	32・44 1)5)	32・44 1)5)10)	4 ⁶⁾⁹⁾¹⁰⁾	8 ⁷⁾⁹⁾¹⁰⁾	24 ⁸⁾⁹⁾¹⁰⁾	希望科 ⁹⁾

(単位は W=週)

内科研修：須期間中に選択できなかった残りの 4 診療科を選びたい場合、選択期間中にローテートすることも可能 ⇒

特に、**内科専門医を目指す場合**、2018 年（平成 30 年）4 月から導入された「新・専門医制度」では、

臨床研修医時代に担当した症例のうち**最大で 50%が利用**できるようになったため 多くの内科系診療科をローテートする好生館方式は、かえって有利に働くものと期待される。